

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	献血・骨髄バンク推進事業			410207	担当課	健康医療課	
	開始年度	昭和42(1967)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	吉田 和彦		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 保健衛生総務費	決算附属資料	146	頁	
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-		
	施策名	市民の健康を増進する			根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	・輸血用血液製剤をはじめとする血液需要に見合う安全な血液を、将来にわたって安定的に確保するため献血の推進を図る。 ・骨髄バンク登録者の確保のための取組み。						
	対象者	全市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.02		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山市献血推進協議会・献血と骨髄バンクの和を広げる会						
	事業概要	・福知山市献血推進協議会の活動に対し負担金を交付 ・特定非営利活動法人骨髄バンクと献血の和を広げる会に補助金を交付 ・骨髄ドナー助成						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		献血推進団体への負担		福知山市献血推進協議会への負担金			150	
骨髄バンク登録推進団体への補助		献血と骨髄バンクの和を広げる会活動補助金			50			
骨髄ドナー登録推進		骨髄ドナー助成金			140			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		900	620	336		
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0				
	財源内訳	一般財源		550	410	266		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		350	210	70		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)	骨髄ドナー助成事業費補助金		70	府補助金	24 頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.1/0.0	0.10/0.0	0.10/0.0			
	概算人件費・・・④		800	800	800			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,700	1,420	1,136	0		
執行状況	執行額・・・⑥		340	340				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		37.8%	54.8%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		年間採血者数	人	3955 /4200	3824 /4200	/4000	4000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		移動採血車により献血を実施	日	55/61	56/59	/55	60	
		単位あたりコスト		6.2	6.1			
				/	/	/		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	人工的に製造できない血液・骨髄等の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与、普及啓発は妥当と考える。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	赤十字血液センター、骨髄バンクボランティアと連携し、献血協力団体・会場。ボランティア調整を役割分担し実施しており効率的である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	献血協力団体と連携しボランティアによる献血活動の協力により事業が実施でき、有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	人工的に製造できない血液・骨髄等の供給には、献血と骨髄バンク登録が必要であり、献血等協力団体・個人への関与、普及啓発は妥当と考える。	
	今後の課題及び方向性	安心安全なまちづくりのため、血液需要に見合う血液を安定的に確保する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・血液の供給に必要な事業だが、その普及に協力団体やボランティアへの交付金を支出するため、活動内容及び活動費用について、中身をしっかりと精査していかなければならない。 ・血液の供給量の目標が、献血車の配車とその日数によるので、基本同じ目標設定になっているが、赤十字血液センターやボランティアの方と調整し、さらに高い目標値を設定し、より多くの人に献血の協力をいただける体制づくりを模索してほしいと思う。 ・骨髄バンクについては、協力いただいた方の体験談を披露する等、身近なものに感じていただくような工夫があるとバンク登録へのハードルも下がると考える。(個人情報配慮は必要ですが。) ・日頃からの健康維持、健康増進とも関連していると思うので、健康に関する他事業と関連付けて取り組みや啓発等を行っていただくことでの相乗効果を期待する。 ・推進協議会、ボランティアとの連携の中で献血の重要性の啓発にも留意し、課題である若年層の献血や複数回の献血を促進し、安定的な集団献血につなげてもらいたい。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	保健衛生一般経費事業			410301	担当課	健康医療課		
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	吉田 和彦	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 保健衛生総務費	決算附属資料	146		頁	
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-			
	施策名	市民の健康を増進する			根拠法令等				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	円滑な健康推進事業の推進							
	対象者	全市民		対象者数	80,000		一人当たりコスト	0.21	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)ケーケーシー情報システム							
	事業概要	事業運営に係る一般庁用経費、総合健康管理システム経費、各種研修経費及び賠償保険料 本事業は、28年度事業の予防費一般経費事業、保健指導費一般経費事業、保健福祉事業賠償保険事業、予防接種賠償保険事業及び総合健康管理システム事業を統合							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費	
		旅費・賃金		各種研修会出席旅費・代替職員等賃金				6,106	
需用費		庁内事務用品費・印刷製本費他				568			
委託料		総合健康管理システム維持管理費用				1,953			
使用料及び賃借料		総合健康管理システム賃貸借費用など				4,311			
負担金補助及び交付金、役務費		各種研修会、協議会負担金、郵送料				381			
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	8,559	7,989			
		補正予算等・・・②		0	4,818				
		繰越し等・・・③		0					
	財源内訳	一般財源		0	13,377	7,868			
		国支出金		0	0	121			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)	疾病予防対策事業費等補助金			81	国補助金	16	頁
職員人件費		従事職員数(正職/嘱託)	0/0	0.4/0	0.4/0				
		概算人件費・・・④	0	3,200	3,200				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	16,577	11,189	0			
執行状況	執行額・・・⑥		0	13,319					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	99.6%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		一般庁用経費のためなし	-	/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		一般庁用経費のためなし	-	/	/	/			
		単位あたりコスト							
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般庁用経費。円滑に健康推進事業を推進できたと考える。	
	今後の課題及び方向性	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要。 最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・成果実績及び活動実績について、経費の大部分を占めている総合健康管理システムの利用状況に関する指標を示すべきと考えられます。 ・必要かつ効率的なシステムであると考えられるので継続は必要であるかと考えられるが、中長期的な視野でシステムの維持・管理費の低減ができるよう、専門的な知識を踏まえ、検討してほしい。病院との連携ができればよいと思う。 ・システム管理により、市民の検診等に関する情報が正確に管理され、業務の正確な遂行につながっているため、今後も、システムへの迅速的確なデータ入力による業務効率のアップを図るなど、システムを最大限に利用し、業務の効率性、有効性を高めていっていただきたい。 ・大部分の経費が、総合健康管理システム(健康かるて)の賃貸借及び維持管理と育休職員の代替職員賃金となっており、同システムの選定及び運用に関しては費用削減と効率性を高める取組が行われている。 ・一般経費事業であるが、業績指標において栄養管理に関する研修会参加など健康医療に資する取組を記載すれば、市民にも事業内容や取組がより分かりやすく「見える化」できると感じる。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	予防接種健康被害対策事業			410311	担当課	健康医療課			
	開始年度	昭和57(1982)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	吉田 和彦		
	歳出費目	款)衛生費	項)保健衛生費	目)保健衛生総務費	決算附属資料		146	頁		
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-				
	施策名	市民の健康を増進する			根拠法令等	予防接種法				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種法第11条の規定による予防接種健康被害認定者(生ポリオ予防接種)に障害年金を支払う。 ・予防接種健康被害発生に際し、調査委員会を設置し、医学的見地から調査を行なう。 また、認定者に障害年金を支給することで、健康被害に対する救済措置を行なう。 								
	対象者	予防接種健康被害認定者	対象者数	3		一人当たりコスト	1,533.30			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種健康被害にかかる障害年金 ・市が行う予防接種において、予防接種法及び結核予防法の規定に基づく健康被害の発生に際し、設置する調査委員会にかかる経費 								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		扶助費		予防接種健康被害障害年金				2,975		
委員報酬		予防接種健康被害調査委員会委員報酬				16				
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		2,910	3,000	2,999				
		補正予算等・・・②		66						
		繰越し等・・・③								
	財源内訳	一般財源		744	768	768				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		2,232	2,232	2,231				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称 (H29実績)	予防接種事故対策費補助金			2,231	府補助金	24	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.10/0	0.20/0	0.20/0				
概算人件費・・・④		800	1,600	1,600						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		3,776	4,600	4,599	0					
執行状況	執行額・・・⑥		2,976	2,991						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.7%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		救済給付事業のためなし		-						
				/	/	/				
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		調査委員会開催回数		回	0	1	-	-		
		単位あたりコスト			/	/	/			
単位あたりコスト			/	/	/					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	予防接種による健康被害に対して救済給付
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	予防接種法及び規則等に基づく給付
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	予防接種による健康被害に対して救済給付
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	予防接種による健康被害に対しての救済給付である。	
	今後の課題及び方向性	予防接種による健康被害に対して救済給付であり、継続が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・健康被害が実際に生じた場合の対応に係る事前の周知、啓発は。各担当課と連携しつつ、十分に行われているかどうかを確認すること。 ・対象者数の書き方を検討 ・活動実績に「実支給の人数」、「調査委員会の検討対象者数」など検討してください。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	一般庁用経費。円滑に健康推進事業を推進できたと考える。	
	今後の課題及び方向性	適切な健康推進事業のため、必要最低限の庶務的経費は必要。 最小の経費で最大の効果が得られるよう、職員一人一人の意識を高める。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	熱中症、感染症等市民の生命に影響する健康被害に関する予防、社会維持活動等の対策に必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	健康被害発生時には各部署及び京都府、民間等との連携が必要であり組織的対応は有効である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	健康被害に関する対策は、事前準備が必要であり組織的対応は有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	健康被害の発生予防・拡大を防止し、健康危機に対する住民の不安を解消し、生命・健康の安心・安全確保を図る上の評価指標を模索	
	今後の課題及び方向性	安全安心な街づくりのため、継続実施が妥当		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・衛生協会の補助については、啓発に係る物品購入及び活動費のみを対象とし、その補助割合についても見直しを図ること(1/3に) ・成果及びアウトプットの考え方を整理すること ・事業費補助ならまだよいが、補助対象の整理と補助率について検討を進められたい ・アウトプット「発令件数」0はありうるのか？考え方の整理を ・衛生協会が必置か否かの確認(設置された経過も含む) 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	公衆浴場補助事業			520117	担当課	生活交通課		
	開始年度	昭和23(1948)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	横山 晋			
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 環境衛生費	決算付属資料		頁		
	施策の大綱	健康・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-			
	施策名	市民の健康を増進する			根拠法令等	公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	○公衆衛生の向上に寄与する施設である公衆浴場に対して支援することで、市民の公衆浴場利用の機会の確保を図る。							
	対象者	市内公衆浴場	対象者数	1	一人当たりコスト	840.00			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 市内公衆浴場(桜湯)							
	事業概要	○市内公衆浴場(桜湯)への補助。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		補助金		市内公衆浴場(桜湯)			0		
関連事業	なし								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		400	200	195			
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		400	200	195			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.07/0	0.08/0	0.08/0	/		
		概算人件費・・・④		560	640	640			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			960	840	835				
執行状況	執行額・・・⑥		400	0					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	0.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		市内公衆浴場数	件	2	1	1	1		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		公衆浴場利用者数	人	6180					
		単位あたりコスト		0.1					
				/					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	○ 予期せぬ災害時の利用や街のコミュニケーションの場としての利用など公衆浴場の健全な運営を確保する意義は大きいものがある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	○ 経営支援を行うことで、公衆衛生の向上及び住民の福祉に寄与するとともに公衆浴場の健全な運営を確保される。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	○ 公衆浴場の健全な運営が確保され、市民の公衆浴場利用の機会の確保に有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	公衆浴場に対し支援することにより、市民の公衆浴場利用の機会の確保を図ることができた。	
	今後の課題及び方向性	○ 公衆浴場は公衆衛生の向上に寄与する施設であり、経営を維持するためには支援が必要であるため継続して支援を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の存続については、事業主である桜湯さんの意向を十分聞いた上で進めていただきたい。 ・他課と連携し、集客等の面でも市のサポートができれば、本事業の有効性は高まる。 ・現在市内で1軒となった公衆浴場に対して、公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律に基づきながら、市として適切な配慮が行われていると思う。 ・今後は、公衆浴場としての機能だけでなく、中心市街地活性化や歴史的建造物としての観点から、観光の部署と連携しながら観光面でのアプローチにも利用するなど、工夫しながら広い視野で公衆浴場の確保を図っていただきたい。 ・補助金を交付しないのは、相手方の事情によるものなので、今後の動向については見守るしかないのではないか 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	